

S-SYSTEM

SMOOTH・SILENT・STRONGを追求するために集結された独自の機構の数々。



A-RB (Anti-Rust Bearing) A-RB

ボールベアリング全てに、シマノ独自の驚異的な耐蝕性を持つA-RB (Anti-Rust Bearing) を採用。

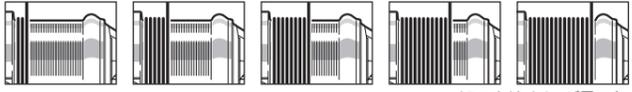
EASY メンテナンス

オイル・グリスによるメンテナンスはインジェクションキャップを外していただくだけで簡単に行うことができます。



スローオシュレート(密巻機構)

密に巻かれたラインは、スプール前後のターン数が極めて少ないため、乱れず美しく放出されます。放出音の静けさがエネルギーロスの小さい証です。また、密巻きすることによって糸の巻き上げ厚が薄くなり、表面~ボトムにいたるまでのスプールエッジの抵抗が極めて少なくなります。スローオシュレート機構によりスプールにラインが密に巻かれます。



CF大口径スプール

コールドフォーミング(冷間鍛造)したアルミニウム合金をマシンカットで徹底的に無駄な贅肉を排除することにより、超軽量で強度のあるスプールに仕上げました。

CFマスターギヤ

超々ジュラルミンをコールドフォーミング(冷間鍛造)した高精度で耐久性に優れたマスターギヤ。大口径から生まれるゆとりがパワーを発揮します。

イラストはイメージ図です。

S-ガード

ローター・ボディの金属本体を傷などのダメージから守ります。

S-アームカム

糸がらみを防ぐ三次曲面で構成されています。

スーパーシップ

SMOOTH & HIGH POWER SYSTEM

スムーズ&ハイパワーシステムとは... 従来のSHIPにさらに磨きかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。歯の形状を徹底的に研究開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。



90mmロングパワーハンドル

巻き上げトルクが大きく楽に巻き上げることができます。

ポジティブベール

ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。

スーパーストッパーII

これまでのスーパーストッパーをさらにグレードアップしたローラーベアリング内蔵のストッパーで、瞬時のアワセや糸フケとそれともなうガイドがらみを防止します。

防塵機構

35mm ロングストローク

糸落ち防止カラー

A-RB ボールベアリング内蔵 5個

ローラーベアリング内蔵 1個

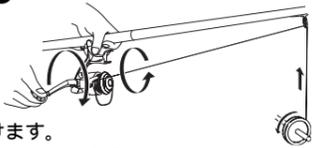
ボールベアリング内蔵チタンコーティング
パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻き取る時に生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻き取る時、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラーIII」を採用。ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2

パワーローラーIIIご使用上の注意



「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下記の要領で糸を巻いて下さい。
1. 図のようにリールを竿に取り付けます。
2. 第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
3. 糸が巻かれているポピンに割り箸のような軸になるものを通します。
4. それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポピンを回転させながら糸を巻いて下さい。



- 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨレている時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻き取り、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻き取りで、ローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻き取る時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。
- 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

操作方法

糸巻き形状の調整方法

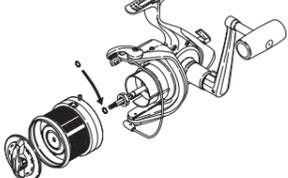
糸巻き形状は、図1のように糸の巻かれた面が平行で、上下にすき間のない状態がライントラブルの防止に有効です。

図2 図3のように大きく変型して巻き上がる場合は、以下のように調整することをおすすめします。

前よりの糸巻き形状を修正

図2を図1へ

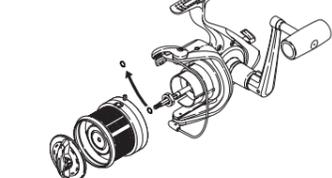
付属のワッシャを追加してください。



後ろよりの糸巻き形状を修正

図3を図1へ

スプール軸上にあるワッシャを減らしてください。



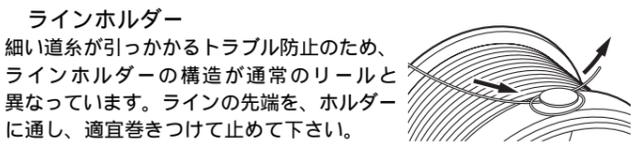
ハンドル付け替え

ハンドルの左右付け替えは、防水キャップを外してハンドルを差し替えてから、防水キャップを十分にネジ込んでください。



ラインホルダー

細い道糸が引っかかるトラブル防止のため、ラインホルダーの構造が通常のリールと異なっています。ラインの先端を、ホルダーに通し、適宜巻きつけて止めて下さい。



キャスト時の注意

キャストを行う際は、ベールアームを本体の当たり近くで返し、しっかりベールが返っていることを確認してください。ハンドル回転で不用意にベールが返らない仕様になっておりますので、キャスト後は手でベールを返して下さい。

メンテナンスの方法(オイルインジェクションで簡単・安心)

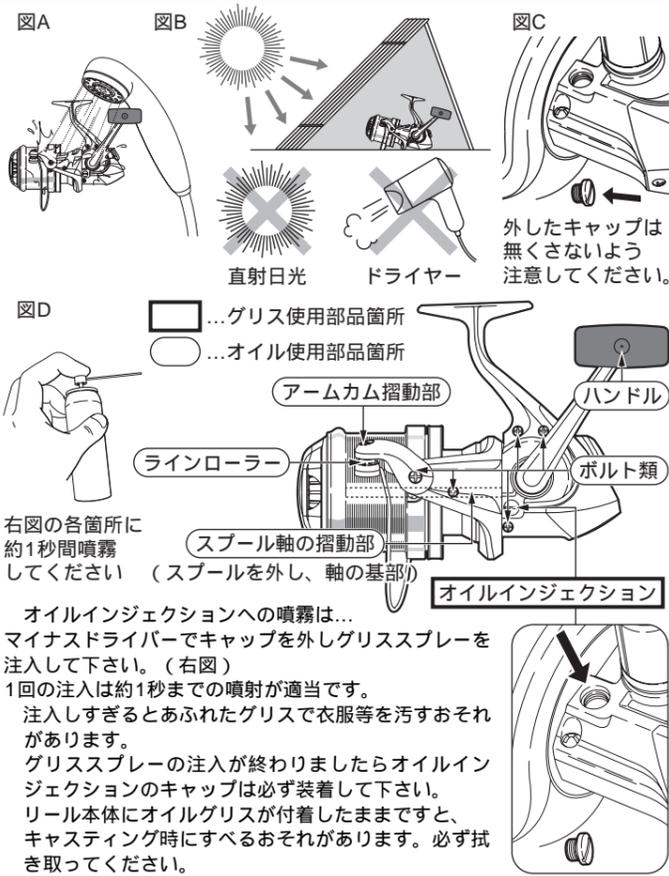
ジュラルミンスプール、A-RB (Anti-Rust Bearing)の採用で、通常使用後は1. 2. の水洗いと乾燥だけで十分です。およそ5回の使用に1回、また次のご使用までに1ヶ月以上の期間があく場合は、3. の注油を併用するとより効果的です。オイルインジェクションの採用で、リール内部へのグリス補給も容易です。リールを水没させてしまった場合は、1. から3. までのメンテナンスで応急処置はできますが、できるだけ早く最寄りの小売店にお預けいただき、当社のアフターサービスを受けることをおすすめします。

- 水洗い...シャワー等の真水で水洗いしてください。リールに付着した塩分、汚れを洗い流します。 図A
温水はグリスを洗い流す可能性があるためお避けください。また、同様の理由でリール本体を水没させないでください。竿にセットした状態で水洗いされなくても、リールシートのフード部とリールの脚に溜まった海水を洗い流さない事がしばしばあります。
- 乾燥...しっかりと水を切った後、直射日光を避け、陰干ししてください。 図B
直射日光、ドライヤー等は内部のムレを引き起こします。 図C
水を切り、乾燥させる際にオイルインジェクションのキャップを外しておくことより効果的です。
外したキャップは無くさないよう注意してください。
- グリス、オイル噴霧...グリス噴霧箇所とオイル噴霧箇所は 図Dを参照していただき、間違えないように噴霧して下さい。グリス、オイルはシマノ純正品(別売・下記)をお使い下さい。

シマノ純正リールメンテスプレー (SP-003H) ¥1,700

リールグリススプレーとリールオイルスプレーの2本セット販売です。小売店にてご注文ください。
注油の際は、オイル、グリスが飛び散り周囲を汚すことがあります。換気の良い場所で注意して行ってください。

お願い
グリス、オイル類はシマノ純正品(別売)をお使いください。そうでない場合の品質の保証はいたしかねます。ご注意ください。



右図の各箇所約1秒間噴霧してください(スプールを外し、軸の基部)
オイルインジェクションへの噴霧は...
マイナスイオンドライヤーでキャップを外しグリススプレーを注入して下さい。(右図)
1回の注入は約1秒までの噴射が適当です。
注入しすぎるとあふれたグリスで衣服等を汚すおそれがあります。
グリススプレーの注入が終わりましたらオイルインジェクションのキャップは必ず装着して下さい。
リール本体にオイルグリスが付着したままですと、キャスト時にすべるおそれがあります。必ず拭き取ってください。

リールのお取り扱いの注意

リールは精密部品で構成されていますので、下記注意事項を守ってお取り扱いください。

《ご使用上の注意》

リールを使用する竿に取付けてみて、不具合がないか、まず確認してください。
根掛かりした時には、竿やリールで無理にあおらないで、手にタオル等の布切れを巻いて、できるだけ釣場に糸の残らないように引き寄せて切ってください。
リールは丁寧に扱ってください。移動時、特に磯渡しなどの時の投げやりやバック内での他の道具との接触による破損には十分ご注意ください。
砂浜、磯の上で竿を立てるとき、石突きを強く打ち込むとショックでリールの脚部が折れることがありますので、必ずゆっくりと竿を立ててください。
砂や水などの侵入を大幅に減少させるシール部品を随所に採用していますが、防水構造ではありません。
水中での使用、およびお手入れには対応していませんので、水没させないように注意して下さい。(万が一リールが水没し内部に浸水した場合、「メンテナンスの方法」の項を参照)また、むやみに分解されますと、シール部品が破損したり、その性能を損なう可能性がありますので充分ご注意ください。
ローターの内部に位置するローラーベアリング部にはグリスを絶対につけないで下さい。グリスがローラーの動作に悪影響をおよぼし、ストッパーが効かなくなることがあります。
高温、高湿の状態が長時間放置されますと、変形や強度劣化の恐れがあります。長期保存をされる場合は、上記のお手入れを実施後、風通しの良い場所で保存されるようにして下さい。
ご自分で分解・修理をされる場合は、部品のエッジ等で手を切らないようにご注意ください。
ご使用後、濡れたまま湿度の高い状態の密閉された空間(自動車のトランクなど)に放置されますと本体部分が腐食する恐れがあります。よく乾かしてから風通しの良い場所に保管して下さい。
本体の塗装面に傷をつけないようご注意ください。傷の部分から腐食する恐れがあります。
お願い
リールの状態は使用頻度のみならず、使用環境、使用方法、対象魚等によって大きく異なります。できましたら1年に一度は点検のためお預け頂くことをお勧めいたします。最寄りの小売店にてお受けしております。

*** 特にご注意ください! ***
万が一リールを砂の上に落とし、砂が入った場合にはハンドルを回さずに真水で洗い流してください。そのまま使用すると破損の恐れがあります。

製品のお問い合わせ・アフターサービスのご案内

弊社の製品、部品には全てコードがついています。製品のコードにつきましては図の中に表示しています。また、部品につきましては分解図に載せています。製品の性能、スペック等のお問い合わせの際は図をご覧いただき、製品名と製品コード番号をお知らせください。
例/製品名: ステラFW1000S 製品コード: SC78B010
リールのメカニズムの説明には書面で表しにくいことがあります。手紙でのお問い合わせにつきましては、必ずお客様の電話番号をお書き添えくださるようお願いいたします。
修理に出される際には、お買い上げの販売店へ現品をお預け願います。その際には必ず、修理箇所、不具合内容を具体的に(例/ストッパーが働かない)お知らせください。また、お近くにシマノ商品取扱店がない場合は、最寄りの営業所・本社(フリーダイヤル)または釣具サービス課へお問い合わせください。修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。商品の故障等によって生じる他のタックルの破損、紛失、釣行費等は保証できません。
ご自分で修理をされる場合の部品や替スプールのお取り寄せは分解図をご覧いただき、製品名・製品コード・部品番号をご指定の上、ご注文ください。(内部の部品に関しては、複雑ですのでリール本体ごと修理に出されることをお勧めします。)
例/製品名: ステラFW1000S 部品番号: 2
製品コード: SC78B010 部品名: スプール
製品コードの位置
取扱説明書・分解図・パッケージ底面部・製品(コードの上5ヶタを表示しています)

